



皆さんの善意で 25 年 まち角の図書館で～す

皆さんは、市内の街角で変わった形をした本棚を見掛けたこと
がありませんか。それは全国でも珍しい、「無人」「無料」「無施設」
の「まち角の図書館」という小さな図書館です。

誕生のきっかけ

提供された古本に もう一度光を

平成元年、市役所前のバス停に
1号館が設置されて以来、市内13
カ所にある「まち角の図書館」は、
「利用者に貸し出し・返却を任せ
る」「本は寄付されたもの」とい
う考えのもと、皆さんからの善意
で成り立っている図書館です。市
章の井げたをかたどった同館は高
さ約2.5m、幅約3.5m、奥行約0.5
mのスチール製戸棚で、前面は
図書が見えるようになっています。
同館の設置は、「皆さんから古
本再利用市に提供してもらった図
書に、もう一度光を当てたい…」
という思いから、池田市リサイク
ル協会を母体とする、池田のまち
角に図書館をつくる運動実行委員
会が生まれたのがきっかけです。
その後、同会では「明るい・楽し
いまちづくり」をテーマに活動を
続け、12年までに各小学校区に1
館と、市立池田病院前などに分館
2館を設置してきました。

本の回収や整理はボランティア
スタッフが、トラブルもあり
ましたが、25年間円滑に運営され
ています。

ユニークな取り組み

生活文化賞受賞や 他県での参考に

同館の運営方式は、沖縄県与那
原町や長崎県佐世保市、宮崎県西
都市でも取り入れられています。

1号館の両サイドに飾られてい
るシーサーは、与那原町から贈ら
れたものです。また、沖縄県知念
村（現南城市）の図書が不足気味
なのを聞いた実行委員会が約60
冊をプレゼントしたところ、お



【まち角の図書館の設置場所一覧】



号館	設置場所
1	池田駅前公園の市役所側（菅原町）
2	池田泉州銀行池田東支店前（旭丘2丁目）
3	石橋「赤い橋」西詰め（天神1丁目）
4	大阪北部農協細河支店前（中川原町）
5	旧大阪北部農協神田支店前（神田2丁目）
6	敬老会館前（旭丘3丁目）
7	室町防犯センター前（室町）
8	伏尾台コミュニティセンター第1会館前（伏尾台3丁目）
9	阪急「石橋」バス停横（石橋1丁目）
10	緑丘2丁目公園入り口横（緑丘2丁目）
11	横岡公園前（五月丘2丁目）
12	才尊会館前（鉢塚2丁目）
13	市立池田病院前（城南3丁目）

※12と13は分館です。

礼に沖縄関係の図書をいただくなど、地域を越えた交流なども重ねてきました。

このような地域間交流をはじめ、「本を通して心の豊かな町に」「みんなのものはみんなで大切にしよう」という運動の趣旨が評価され、平成4年度には(財)日本ファッション協会から生活文化賞を受賞しました。

また、大阪モノレールでも「モ



モノレール文庫（「蛸池」駅）

ノレール文庫」として、小さな図書館が各駅に設置されています。

収納図書数も増加

鉢塚分館、19年ぶりに

リニューアル

才尊会館（鉢塚2丁目）前にある鉢塚分館は、平成元年に個人宅で始められ、自宅の移転に伴って6年に本市に寄贈された図書館です。老朽化が進んだことから、このほどリニューアルしました。こ

れにより、以前よりも多くの図書を収納できるようになりました。

少しでも本を読む習慣が広がれば

実行委員長

有田稔さん

「好きな作者は池波正太郎」という有田さん。実行委員会の3代目の会長として、今年で3年目になります。

普段は、市立池田病院前にある分館を中心に図書整理をしていますが、「扉に破損があった」などと聞けば、すぐに工具を持って現場に直しに行かれるそうです。「活字離れといわれる時代ですが、少しでも本を読む習慣が広がってほしい」と熱く語ってくださいました。



リニューアルした鉢塚分館前で

25年間の裏側を見せます

まち角の図書館を支える皆さん

いい本を何度も
読んでもらいたい

図書回収委員

三上貞夫さん

毎月第1・3木曜日（8月は除く）、市職員と一緒に図書の回収をしている三上さん。実行委員会の活動に参加したのは、同じ会社で働いていた前会長に依頼されたのがきっかけだそうです。

昨年は70軒のお宅から、5000冊以上の図書を回収されました。「いい本を皆さんに何度でも読んでもらいたいから、家の片付けなどで読まなくなった本が出てきた



方は、ぜひ事務局まで連絡してほしいですね」と語っていました。※10月の回収日などは下記参照。

やりがいをもって

約2万冊の本を分類

図書整理委員

権田浩久さん



皆さんからの善意で回収された図書は倉庫に保管されていますが、その数は約2万冊。その整理をしているのが権田さんです。

「選考委員の方が持ち出しやすいよう、分類するのは大変」と話されますが、権田さんの手によつ

てきれいに分類分けされた図書が、倉庫に整然と並んだ光景には圧倒されます。中には古くなったものや本棚に入らないものがあり、それらは古本再利用市で活用されています。

これからも活動が
広がっていきけば

図書選考委員

藤枝佳世さん

本棚に図書を補充したり、きれいに整頓しているのが選考委員で、藤枝さんは市立池田病院前の分館を担当されています。同館は病院の利用者も多く、間違つて同院の本棚に返されることもよくあるそうです。

「実行委員会には25年の歴史がありますが、今後も活動が広がっていきけばと思います。ぜひ、皆さんも一緒に活動が広がります。」



んも一緒にボランティア活動に参加してほしいですね」と語っていました。



これからもヨロシクね

ボランティアや

図書の回収に協力を

10月、図書の受け取りに何う日は3・17日の木曜日です。前日までにお知らせください。また、本は箱や袋に入れるか、ひもでくくるなど、ご協力をお願いします。

なお、受け取り図書は文庫本（現在、日本人作家のものが不足しています）、単行本、児童書（漫画可）で、雑誌、専門書、百科事典、全集、宗教書などはお断りしています。

25年を過ぎ、新たな1ページを開こうとしている「まち角の図書館」。皆さんもぜひ、ご協力ください。

問い合わせは池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会（環境にやさしい課内、☎754・6240）へ